




## ボーリング柱状図

調査名 一般国道488号線 道路改良工事に伴う設計業務委託

事業・工事名 一般国道488号線 道路改良工事

[illegible]

シート No.

ボーリング名	H28南 Bor-No. 2			調査位置		広島県廿日市市吉和東山（南工区）					北 緯		34° 27' 27.03913"				
発注機関	広島県 西部建設事務所 廿日市支所 土木課					調査期間		平成 28年 12月 13日 〜 28年 12月 15日					東 経		132° 10' 48.68786"		
調査業者名						主任技師		現 場 代 理 人		コ ン 定 者		ボーリング 責 任 者					
孔 口 標 高	H= 608.53m		角			方			地盤勾配			使用機種	東 邦 D0-C		ハンマー 落下用具	半 自 動 モ ン ケ ン	
総掘進長	5.00m		度			向			試 錐 機	ヤ ン マ ー NFD-10		ポン プ	東 邦 BG-3C				

標尺	層高	厚	深	柱状	土質区分	色相	相対密度	相対稠密率	記号	地層記号	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位試験		試料採取		室内試験(進捗)		
												深	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量(cm)	N値	深	試験名および結果	深	試験番号		採取方法	
													0	10	20									度
(m)	(m)	(m)	(m)	図								(m)				(m)			(m)			(月)	(日)	
	608.98	0.15	0.15		粘土質細砂	黒茶			腐葉土状の中間土。極低密度、軟質。	fs			1.15	1	1	3	32						12	13
1	608.03	0.35	0.50		シルト質砂	淡褐灰			中～粗粒マサ土。φ10～30mm位の角礫を点在。極硬い。				2.05											
	606.93	1.10	1.60		凝滞り粘土質砂	暗茶褐色	非常な粘りがある		マサ土起源の不均質な粘質土。粘性土優勢な部分も介在する。φ5～30mm位の角礫を混入。湿潤気味で軟らかい。		12/14	1.47	2.15	0	1	1	50							
2	606.73	0.20	1.20		粘土質砂	黄褐			粘土質なマサ土。細粒微混入。	fc			2.65	17	33	50	20							
3	605.88	0.85	2.65		砂質粘土	黄褐	非常に粘りがある		粘性土優勢な粘質マサ土。細～粗粒砂混合砂を混在し、φ5～10mm位の細微礫を含む。含水に富み非常に軟らかい。				3.15											
	605.73	0.15	2.80		砂質粘土	黄褐			砂礫状。φmax70～80mm大の礫を含む。				3.35			50	0							
4	605.08	0.45	3.45		風化土	淡褐			粗粒マサ土の風化残積土。岩相DM級。	WGf			4.00			貫入不能								
	603.53	1.55	5.00		花崗岩	淡褐灰	非常に粘りがある		粗粒マサ土に風化が進行。GL-3、35cmより礫化しコアは礫状で採取。岩盤は固～CL級。軟岩I相当である。コアは5～20cm位の柱状となるが、本々風化変質しコア部はやや珪質なアブライト状で硬質。GL-3、80cm以降のコアはハンマー軽～中打で折れ、強打で目に沿ってバラけ細片化する程度に脆い。岩盤は概ねDM級で部分的に固～CL級の緻密部を含む。	Gr			5.00			貫入不能							12	14
6																								

